

嘉納治五郎師範生誕祭について

目的 嘉納治五郎師範について多くの人に知ってもらい、柔道の普及振興を図る。

嘉納師範とは

講道館柔道の創始者。1860年10月28日生まれ。日本の教育への多大な貢献。

嘉納師範は、柔道の修行を通して心とからだを鍛え、社会に貢献する人に育てあげてを柔道の目的としました。また、相手を尊重し、互いに助け合い、譲り合うことの大切さも教え、この考え方は柔道を学ぶ人々に社会生活を営む指針としました。これらの教えは、今もなお世界中で受け継がれています。

生誕祭で取り組んで頂きたいこと

- 1. 嘉納師範について学びましょう！**
授業や練習の合間に、嘉納師範の功績や柔道の歴史について話してください。
- 2. 「投の形」を皆さんで学びましょう！**
柔道の基本となる「投の形」を通じて、基本動作、安全、安心など嘉納師範が伝えたかったことを学んでください。
- 3. ポスターの掲示**
生徒や関係者に嘉納師範について知ってもらうために、生誕祭のポスター、師範の遺訓を掲示してください。

資 料



講道館 YouTube



「投の形」
の解説



生誕祭ポスター
& 師範の遺訓



大辻のデジタル
名刺

